

平成29年度 野々市市商工会 伴走型小規模事業者支援推進事業評価表

実施内容・調査書類		頻度・実施時期	実施項目・調査項目	目標値	実績	評価
<b>I. 経営発達支援事業の内容</b>						
1 地域の経済動向調査に関する事	①地域経済動向調査	通年	・業種別の業況(採算、売上、資金繰り)及び経営課題(需要、採算、人材、資金等)の調査と石川県全体の状況との比較	200	210	◎
	②野々市市地域経済・経営状況分析会議	年2回	・地域経済動向調査及び経営状況調査の分析、集約	2	1	○
	③調査結果の公表・情報提供	年2回	・地域経済動向調査及び経営状況調査結果の公表 ・小規模事業者に対する調査結果の情報提供と課題解決の端緒に活用 ・金融懇談会での情報提供	2	1	○
2 経営状況の分析に関する事	①経営状況調査、分析	通年	・事業者を対象とした、業種別業況、採算、設備投資の有無、及び日本政策金融公庫等の全国版調査との比較・分析	100	102	◎
	②野々市市地域経済・経営状況分析会議(同上)	年2回	・地域経済動向調査及び経営状況調査の分析、集約	2	2	◎
	③調査結果の公表・情報提供	都度	・調査実施事業者へ提供し、経営改善計画策定と実行に活用 ・結果情報の保管と職員間の情報共有	100	76	◎
3 事業計画策定支援に関する事	①事業計画の策定支援	都度	① 事業者に対する事業計画策定支援 ② 創業予定者に対する事業計画策定支援	/	/	/
			・巡回・窓口相談を機に策定支援	30	4	-
			・持続化補助金申請支援の中で策定支援		14	-
			・事業計画書策定セミナーで事業計画書策定(含む創業予定者)		19	○
	合 計			30	37	◎
②事業計画策定セミナーの開催	年2回	・中小企業診断士を講師とし、事業計画策定セミナーを3回シリーズで年2回開催する。 *創業塾を1回開催	2	2	◎	

4 事業計画策定後の実施支援に関する事	①事業計画策定後のフォローアップ	4回/年・事業者	・事業者、創業予定者毎に担当経営指導員を割当て、フォローアップ調書により四半期毎に行う。 ・フォローアップ結果について四半期毎に「経営支援会議」を実施し、情報共有と改善提案につなげる。	60	32	○
	②従業員セミナーの開催	3回/年	・従業員のレベルアップを図るセミナーを開催	3	1	△
	③小規模事業者経営発達支援融資制度等の活用	必要に応じて	・事業計画の策定支援を行い、必要となった場合には、日本政策金融公庫の「小規模事業者経営発達支援資金」や「新規開業資金」等を活用する。	-	0	-
6 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	①需要動向調査	都度	・事業計画策定し事業継続意欲のある者を対象に、事業計画の実現に向けて総務省「家計調査」からの消費動向や日経テレコン21のPOS情報など、各種情報媒体を活用して提供し、計画の実現に資するように提案する。	30	1	×
	①事業計画を策定し事業継続意欲のある者を対象にICTを活用して情報発信	都度	・フェイスブック、メールマガジンを利用して随時情報発信	30	0	×
		都度	・全国商工会連合会が開設している「日本セレクト」への出展支援	5	0	×
		都度	・全国商工会連合会が運営している「100万会員ネットワーク」への登録促進	30	1	×
	②展示会・商談会の活用	都度	・地元信用金庫や各種団体等が開催するビジネスフェアやマッチング情報を提供し、出展と活用を促す。	5	1	×
	③その他	6回/年	・商工会たよりに情報を掲載し発信	6	1	×
		1回/年	・事業者交流会を開催して商品・サービスの情報発信を行うとともに人脈づくりや異業種間交流による情報収集、販路開拓の場として活用	1	1	◎
		H28:企画 H29:調査 H30:実施	・当商工会と類似した立地・業種構成の商工会(できる限り当商工会から地理的に離れ事業者の商圏がかぶらない商工会)との提携を構築し、連携先商工会の事業者と当商工会の事業者が個々に面談・現場訪問する場を年1回提供	-	0	-
		都度	・「商工会ベスト店賞」等既存の事業所表彰制度の活用を働きかける。	2	0	×
		都度	・経営計画を策定した事業継続意志が高く意欲ある30事業者について、当該事業者の商品・サービス情報や創業情報を地元金融機関等連携機関他から発信するように働きかけ、事業者の需要・販路の開拓に繋げる。	30	3	×

Ⅱ. 地域経済活性化に資する取組み						
	①空き家空き店舗調査	通年	・市と協力し、旧北国街道沿線の空き家・空き店舗とともに、その所有者が、当商工会が目指す空き店舗を活用した賑わい創出にご協力いただけるかの調査を行う。	-	-	-
	②市と協議した開発計画・支援施策の推進	通年	・地域小規模事業者の事業継続・新事業者の誘因・育成・定着に向けた具体的支援策を盛り込んだ市の計画づくりを推進する。 具体的には、インキュベータ施設やチャレンジショップスペースの確保とそれら事業者に対する助成支援策の策定を市と協議して行う。	-	5	-
	③ビジネスプランコンテストの実施	H28:企画 H29:調査 H30:実施	・賑わい創出の一つとしてその取組みのビジネスアイデアを広く集めて当地に活かすため、全国の創業予定者や第2創業予定者を対象に、「ビジネスプランコンテスト」を年1回実施し、その優秀者を商工会又は市が認定する制度を設ける。	-	-	-
	④既往事業の充実	1回/年	事業者がじょんからまつりに参加することが、例えばマーケティング活動の一つとなる調査活動や創業予定者のチャレンジショップとして活用できるように工夫を加味するように取り組む。	-	-	-
1回/年		・じょんからまつりで商工会青年部が提供している焼きそばは、2日間で4,000食を売り上げる人気メニューとなってきたので、更に新たな魅力付けを工夫してご当地名物となるように商工会青年部に働きかける。	-	-	-	
Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取組み						
	①野々市市地域経済・経営状況分析会議	2回/年	・「野々市市地域経済・経営状況分析会議(前掲)」にも連携機関の専門分野毎に適宜参加いただき、情報の収集、分析及び提供を効果的に行えるように連携していく。	2	0	×
	②金融懇談会	1回/年	・「金融懇談会」への地域経済・経営状況分析資料提出、会議における情報交換と意見交換を通じて連携を強化する。	1	1	◎

2 経営指導員等の資質向上等に関すること	①能力向上に関する取り組み	都度	・石川県商工会連合会等が開催する研修会の受講	—	14	—
		都度	・中小企業基盤整備機構が開催する研修会の受講	—	0	—
		都度	・経営指導員を対象に、自社の提供価値やなぜその価値が提供できるかなど決算書に現れない資産の把握を行うための研修会を年1回、経営コンサルタントを講師に招いて実施する。	1	1	◎
	②支援ノウハウを組織共有する取り組み	都度	・支援状況や結果について報告する「経営支援会議」を四半期毎に一度開催し、情報を共有して経営指導員の資質向上に繋げる	4	3	◎
	①経営発達支援事業評価会議での評価	年1回 (12月)	・評価会議メンバーを、当商工会幹部等関係者及び外部有識者で構成し、事業の評価と検証を行う。	1	1	◎
	②ホームページ、商工会たよりでの公表	1回/年	・事業の成果・評価・検証結果を本会のホームページ、商工会たよりで公表する。	1	0	×

評価基準表

達成度	評価
認定計画数値目標の75%以上	◎
認定数値目標の50%以上75%未満	○
認定数値目標の25%以上50%未満	△
認定数値目標の25%未満	×